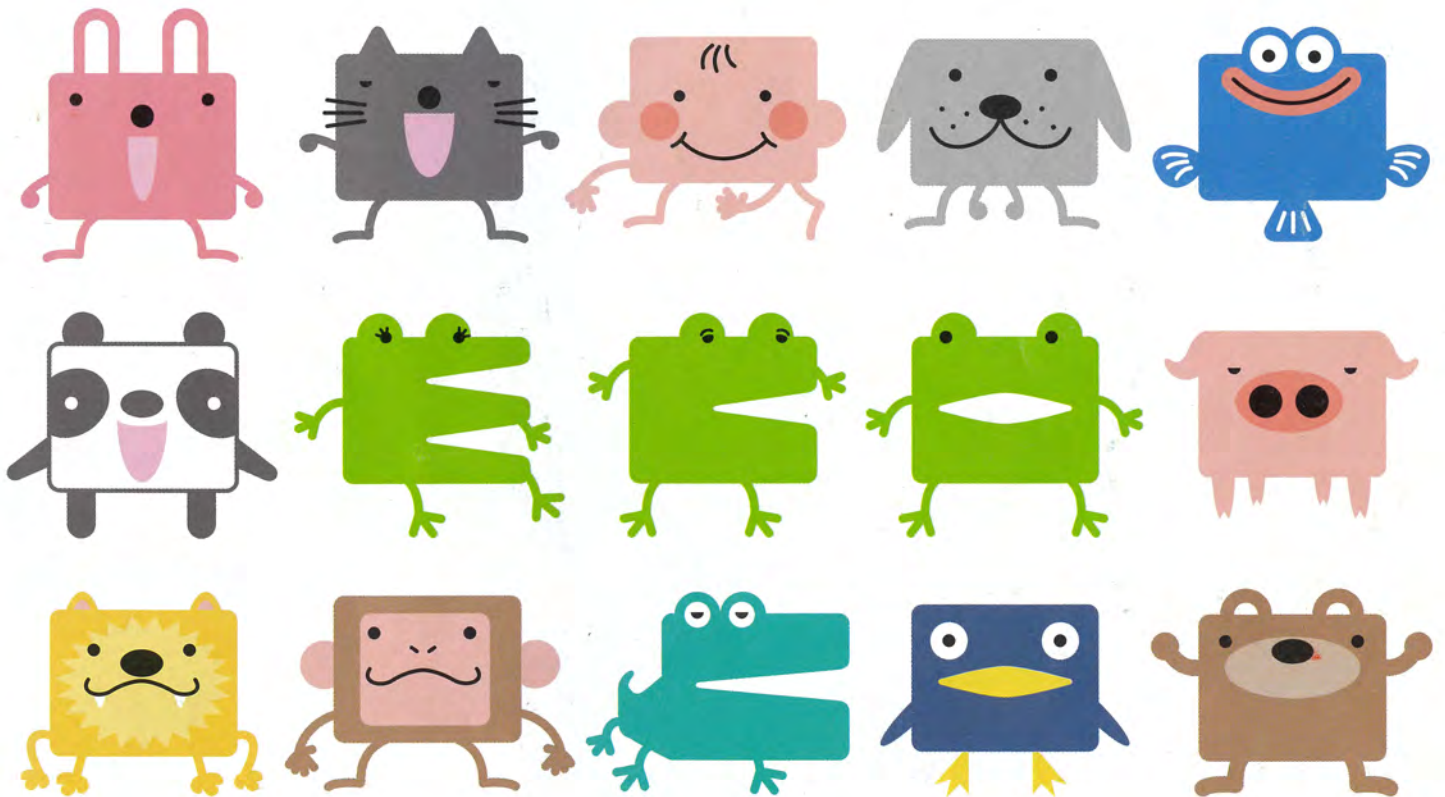


# 環境報告書 2010

Earth Support Corporation Environmental Report 2010

みんなでECOに着がえる。

## エコガエル



Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社





# 会社概要

Company profile

名称 アースサポート株式会社

設立 昭和38年2月4日

所在地 島根県松江市八幡町882番地2

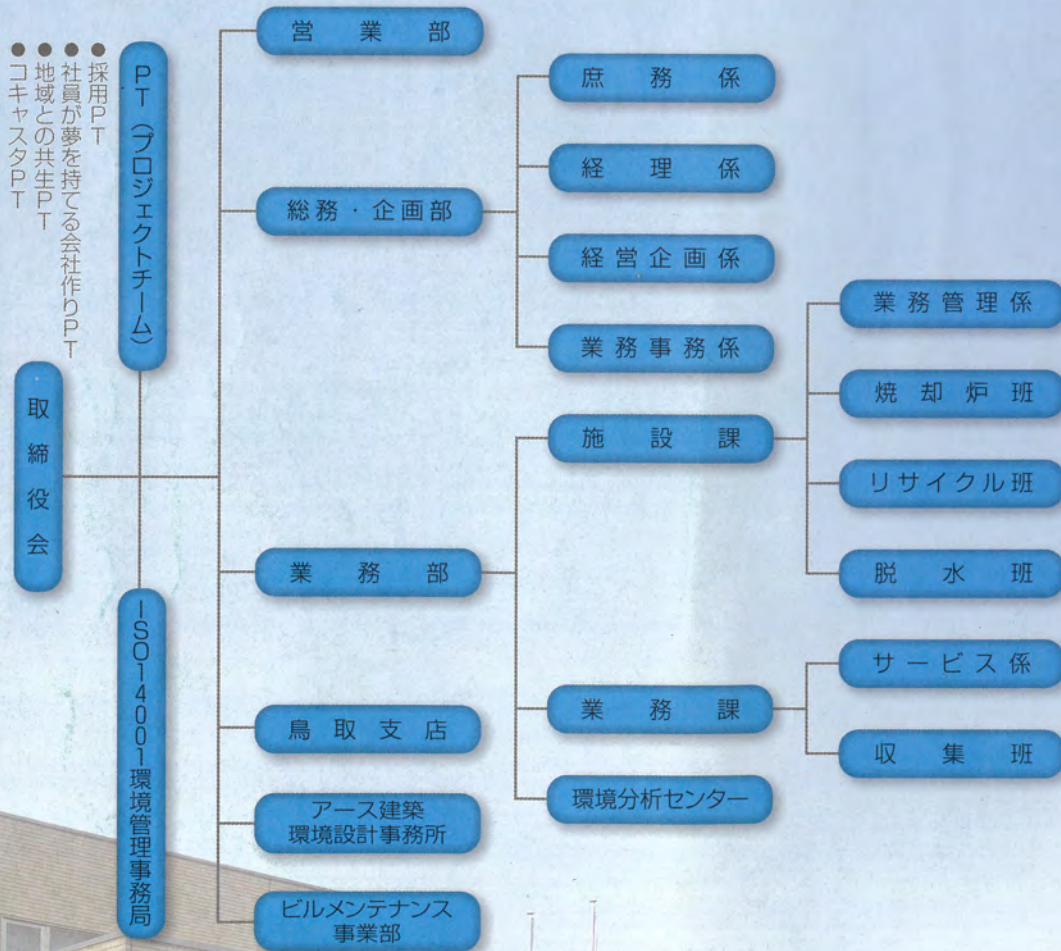
資本金 5,000万円

代表者 代表取締役 尾崎俊也



# 組織体制

Organization system





# 環境報告書 2010

## 目次 CONTENTS

会社概要	1
組織体制	1
アースサポートのあゆみ	3
トップメッセージ	5
<b>ハイライト</b>	<b>6</b>
<b>環境とのかかわり</b>	<b>9</b>
<b>地域とのかかわり</b>	<b>16</b>
<b>社会とのかかわり</b>	<b>20</b>
<b>お客様とのかかわり</b>	<b>23</b>
<b>社員とのつながり</b>	<b>25</b>
<b>労働安全衛生への取り組み</b>	<b>28</b>
<b>アースファームだより</b>	<b>30</b>
アンケート	32
編集後記	34







# アースサポートのあゆみ

History

昭和38年2月

山陰ビル管理(株)設立  
(鳥取県米子市)

昭和50年11月

(有)山陰清掃社設立  
(島根県松江市)

合併

S  
59  
・  
7

東亜グループの二員となる

H  
6  
・  
4

(有)山陰清掃社からアース環境(株)に社名変更

H  
11  
・  
9

産業廃棄物焼却・サーマルリサイクルプラント完成

H  
12  
・  
7

産業廃棄物選別・リサイクルプラント完成

H  
12  
・  
8

竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結

H  
13  
・  
3

島根県内の産業廃棄物処理業界で初めてISO14001を認証取得

H  
14  
・  
10

松江市竹矢地区自治会協会様と共同で廃食油リサイクル事業がスタート



H11.9 焼却炉



H12.7 選別プラント



H14.10 廃食油リサイクル事業



アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。

平成15年10月  
アースサポート(株)へ  
社名変更

H 15  
・ 10

アースサポート(株)鳥取支店開設

H 16  
・ 9

アース建築・環境設計事務所設立・事業スタート

H 17  
・ 6

機密文書リサイクル事業スタート

H 17  
・ 9

RPFプラント及び風力選別プラント稼動

H 19  
・ 4

廃棄物管理サービス(管理代行)開始

H 19  
・ 6

食品リサイクルプラント稼動

H 19  
・ 11

ジントラル・ストリーム™ サービス開始

H 20  
・ 5

カーボンオフセット事業スタート

H 20  
・ 11

東京都新橋に東京本部開設

H 21  
・ 10

B to C解体事業スタート



H16.9 施工例：みるくの里



H17.9 RPFプラント



H17.9 風力選別プラント



H19.6 食品リサイクルプラント





## トップメッセージ

Top Message



### すべてはお客様に 安心して快適な環境を提供するために

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の様々な環境への取組みをまとめた『環境報告書2010』を発刊させていただくに当たり、関係各位にたいへんお世話になりましたことを心より感謝申し上げます。

弊社は、昭和38年に設立した旧山陰ビル管理株式会社と、昭和50年に設立した旧有限会社山陰清掃社が、平成15年に合併して誕生した会社です。合併により、ビル総合管理のノウハウと廃棄物処理・リサイクルの技術を融合させ、更なる地球環境保全の推進のために尽力いたしております。平成16年には自社内に「アース建築・環境設計事務所」を設立し、ビルメンテナンスや廃棄物の適正処理だけでなく、設計段階から環境へ配慮した建物を建設するという一歩を踏み出しました。また、平成19年にスタートした食品リサイクルでは、平成21年に島根県内で初めての再生利用事業登録者として認定され、また平成22年には中国地方で始めてリサイクルループ認定を受ける等、取組みが着実に進んでいます。そして、改正省エネルギー法が制定された本年には、LEDや太陽光発電パネルの導入等をお客様にご提案させていただくという、省エネルギー分野への進出も図っています。

また、地域活動においては、平成12年に周辺地域の自治会様をはじめ8団体様と『環境に関する協定』を締結させていただき、それ以来毎年2回の施設見学会を実施しています。それに伴い、地域から排出される廃食油をバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクル事業の協力、また地域の小学校等で実施している環境教育や環境図書の寄贈についても力を入れています。特に平成19年の食品リサイクルプラント設置以降は、グループ会社である農業生産法人アースファームと提携し、弊社で製造した液体肥料を使って栽培した野菜を小学校の子ども達に収穫して食べてもらうような“食育研修”に力を入れています。

そして、将来の地球環境に甚大な影響を及ぼす地

球温暖化問題についても積極的に取組みを行っています。本年度は、弊社の工場や運搬車両によって排出されるCO<sub>2</sub>のうち、その25%を既にカーボンオフセットしています。また、今後は太陽光発電パネルの設置やLED照明の導入等、地球温暖化を防止するために弊社として取り組むべきことを着実に実施していきたいと考えています。

廃棄物処理業界を取り巻く環境は、ここ数年で大きく様変わりしています。今年は廃棄物処理法が久しぶりに大幅改正されましたが、当業界としてはその変化に確実に対応していかなければなりません。また、リサイクル率の向上、安心・安全・説明責任の徹底、CSR活動の推進等、更なる環境への配慮や経営の透明性、そして地域活動への理解が求められています。日々変化するこれらの外部環境を受け、私たちの業界はその現状をしっかりと認識し、変化に対し果敢に挑戦していかなければならないと考えています。

弊社では、「すべてはお客様に安心して快適な環境を提供するために」という経営理念のもと、様々な管理の徹底や情報公開、リサイクル率の向上を進めてまいりました。このような取組みを1冊にまとめたものが『環境報告書2010』です。私たちは、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、日々工場に排出される廃棄物をいかに再利用するか、お客様や協力業者様に環境情報を提供することでいかに環境に関するプラスの貢献を行っていくかということに誠実に取組み、環境教育等の諸活動を通じて地域に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと確信しています。その思いをお客様や地域の皆様と交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めてまいります。

今後とも皆様のご指導後鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 尾崎 俊也



# ハイライト

アースサポートだからできること…  
わたしたちは、環境のプロフェッショナルとして、  
新たな活動に着手しています。

## 食品リサイクル法の再生利用事業者及びリサイクルループの認定を受けました

当社が取り組んでいる食品リサイクルは、ここ数年で大きく進みました。本年は、島根県内で初めて食品リサイクル法に基づく再生利用事業者（★1、2）の認定を受け、より広域的なリサイクルを行うことが可能となりました。この登録を受け、食品関連事業者であ

る株式会社ふくしま（松江市母衣町、スーパーラパン）様、グループ会社のアースファームと3社共同で再生利用事業計画（リサイクルループ）（★3）認定にも取り組みました。リサイクルループ認定は中国地方で初めてとなり、液体肥料を用いた計画は全国初となりました。

- 平成19年10月 食品リサイクルスタート
- 平成20年 8月 リサイクル施設の処理能力を4トン/日から12トン/日へ増大
- 平成20年11月 アースファームの農場を0.9haから1.5haへ拡大
- 平成21年 6月 再生利用事業者に認定
- 平成21年11月 アースファームの農場を1.5haから2.4haへ拡大
- 平成22年 1月 再生利用事業計画認定を申請
- 平成22年 4月 再生利用事業計画が認定



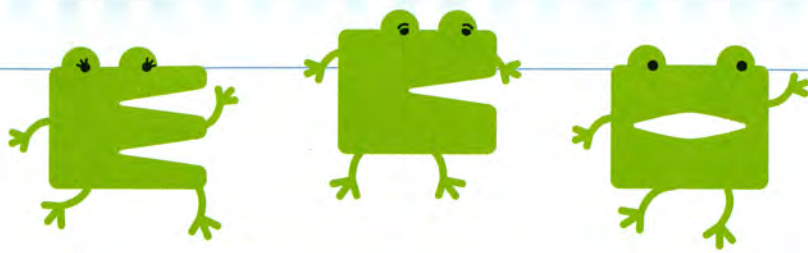
今後は、アースファームの農場の拡大と液体肥料製造施設の処理能力増加を予定しており、更なるリサイクルの推進を行って参ります。

★1 食品リサイクル法：食品の売れ残りや食べ残しにより、又は食品の製造過程において大量に発生している食品廃棄物について、発生抑制と減量化により最終的に処分される量を減少させるとともに、飼料や肥料等の原材料として再生利用するため、食品関連事業者（製造、流通、外食等）による食品循環資源の再生利用等を促進する目的で平成13年5月1日に施行された法律。正式には「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」という。

★2 再生利用事業者：食品循環資源の肥飼料化等を行う事業者について、委託による再生利用を促進するために設けられた制度。この場合、廃棄物処理法の特例等（運搬先の許可不要、料金の上限規制をやめ事前の届出制を採用、差別的取扱の禁止）及び肥料取締法・飼料安全法の特例（製造・販売の届出不要）がある。

★3 リサイクルループ：食品関連事業者が、肥飼料等製造業者及び農林漁業者等と共同して、食品関連事業者による農畜水産物等の利用の確保までを含む再生利用事業計画を作成、認定を受け、計画的な再生利用を促進するために設けられた制度。この場合、廃棄物処理法の特例等（収集先の許可の許可不要）及び肥料取締法・飼料安全法の特例がある。

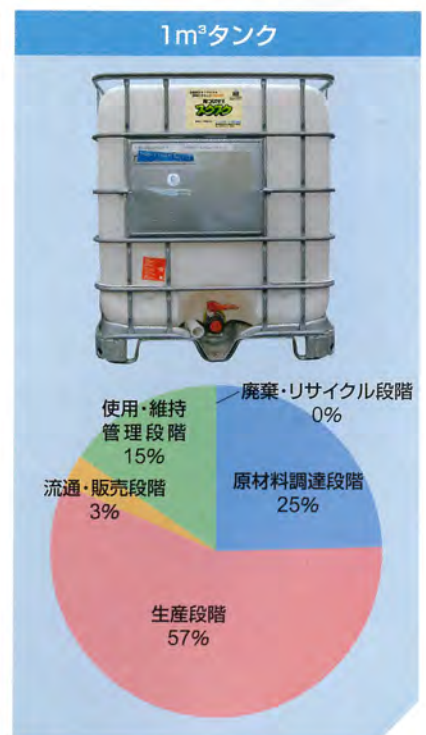
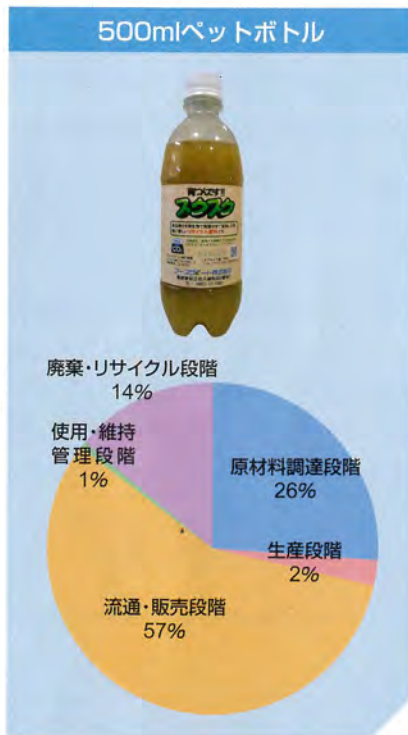




## カーボンフットプリント試行事業に参加

カーボンフットプリントとは、「商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、当該商品及びサービスに簡易な方法で分かりやすく表示する仕組み」のことです。CO<sub>2</sub>の量を計算するのは、PCR（プロダクト・カテゴリー・ルール、商品種別算定基準）と呼ばれる同一商品又はサービスの手引きに沿って行います。

平成21年5月29日から、経済産業省はこのPCRと呼ばれる手引書と、手引書に基づいて計算したカーボンフットプリントを認定する試行事業を始めました。当社も「食品廃棄物を原料とした有機質の液体肥料」という商品に対し、PCRの認定及びカーボンフットプリントマークの付与認定を受けました。全国6社目の認定となり、廃棄物業界では初の取り組みとなりました。

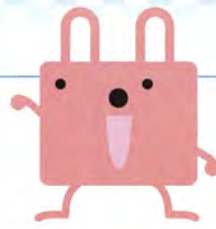


■エコプロダクツ展 2009



■CFP フォーラム





## 食育の推進

食品リサイクル事業を活用し、子供たちに「食育」を実施しています。地元にある小学校である出雲郷小学校の4年生を対象に、昨年より新しい「食育プログラム」をスタートさせました。昨年は食品リサイクルの説明とアースファームの収穫体験だけでしたが、今年はリサイクルの現場である工場も見学し



ていただいた後、アースファームでジャガイモの収穫体験を実施しました。子供たちは、収穫したジャガイモを自宅に持ち帰りました。(平成21年7月3日)

また、平成21年6月13日(土)、14日(日)に第4回食育推進全国大会が島根県松江市のくにびきメッセで開催されました。この大会は、食育に対する理解と関心を深め、国民の健全な食生活と豊かな人間形成に寄与することを目的として、食育に関するシンポジウム・フォーラム、食育に取り組む県内外の団体による展示・活動紹介、食育の体験・講座・現地ツアー等が実施されました。当社も、食品リサイクルに関する食育を行うため、食品リサイクルの展示とアースファームの野菜販売を行いました。当日は大変賑わい、国産のニンニクの売れ行きが非常に良かったところからも、国産農産物への意識の高さが伺えました。



## 産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価基準適合業者に認定

平成17年4月に発表された『産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度』とは、一定のレベルを満たす産業廃棄物処理業者を社会的に明らかにし、排出事業者が委託業者を選定する際の参考とするとともに、優良化を目指す処理業者の取り組みに具体的な目標を与え、産業廃棄物処理業界の優良化に向けた役割を担っています。

優良性の判断基準となるのは、①事業内容、処理施設の能力と処理実績、財務諸表、業務管理体制、従業員教育の取組等について処理業者において情報公開されていること(情報公開性)、②行政処分を一

定期間受けていないこと(遵法性)、③環境保全への積極的な取組を行っていること(環境保全への取組)の3つが大きなポイントとなります。

当社では、平成21年12月25日に島根県の優良評価基準適合業者として認定を受けました。(産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業)

現在山口県、岡山県でも産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業の区分で認定を受けています。



# 環境とのかかわり

アースサポート株式会社は、事業そのものが環境に与える影響を認識し、日々プロフェッショナルな対応が求められます。  
この章では環境に直結した取り組みをご紹介します。

## 環境データ

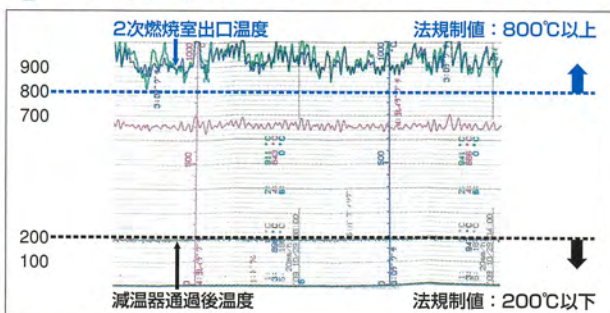
### 焼却炉排ガスデータ

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H21.4.17	H21.10.9		
ダイオキシン類	0.036	0.059	1	ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>
塩化水素	6.1	2.1	430 (700)	mg/Nm <sup>3</sup>
ばいじん	0.0078	0.0081	0.08	g/Nm <sup>3</sup>
硫酸化物	0.029	0.078	22.35   24.66	Nm <sup>3</sup> /h
窒素酸化物	80	87	250	cm <sup>3</sup> /Nm <sup>3</sup>

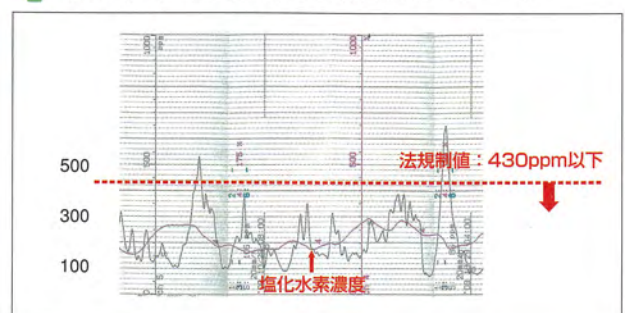
### 焼却炉燃え殻データ

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H21.10.9		
ダイオキシン類	0.14	3	ng-TEQ/g
アルキル水銀化合物	N.D.	検出されないこと	mg/㍑
水銀又はその化合物	N.D.	0.005	mg/㍑
カドミウム又はその化合物	N.D.	0.3	mg/㍑
鉛又はその化合物	N.D.	0.3	mg/㍑
六価クロム化合物	N.D.	1.5	mg/㍑
砒素又はその化合物	N.D.	0.3	mg/㍑
P C B	N.D.	0.003	mg/㍑
セレン又はその化合物	N.D.	0.3	mg/㍑

### 焼却炉温度チャート



### 焼却炉塩化水素濃度チャート







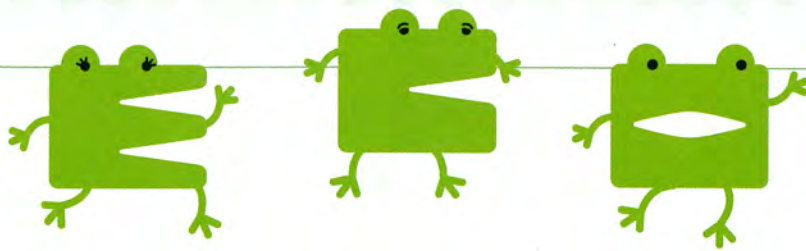
## 排水データ

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H22.3.11		
ダイオキシン類	0.00022	10	pg-TEQ/ℓ

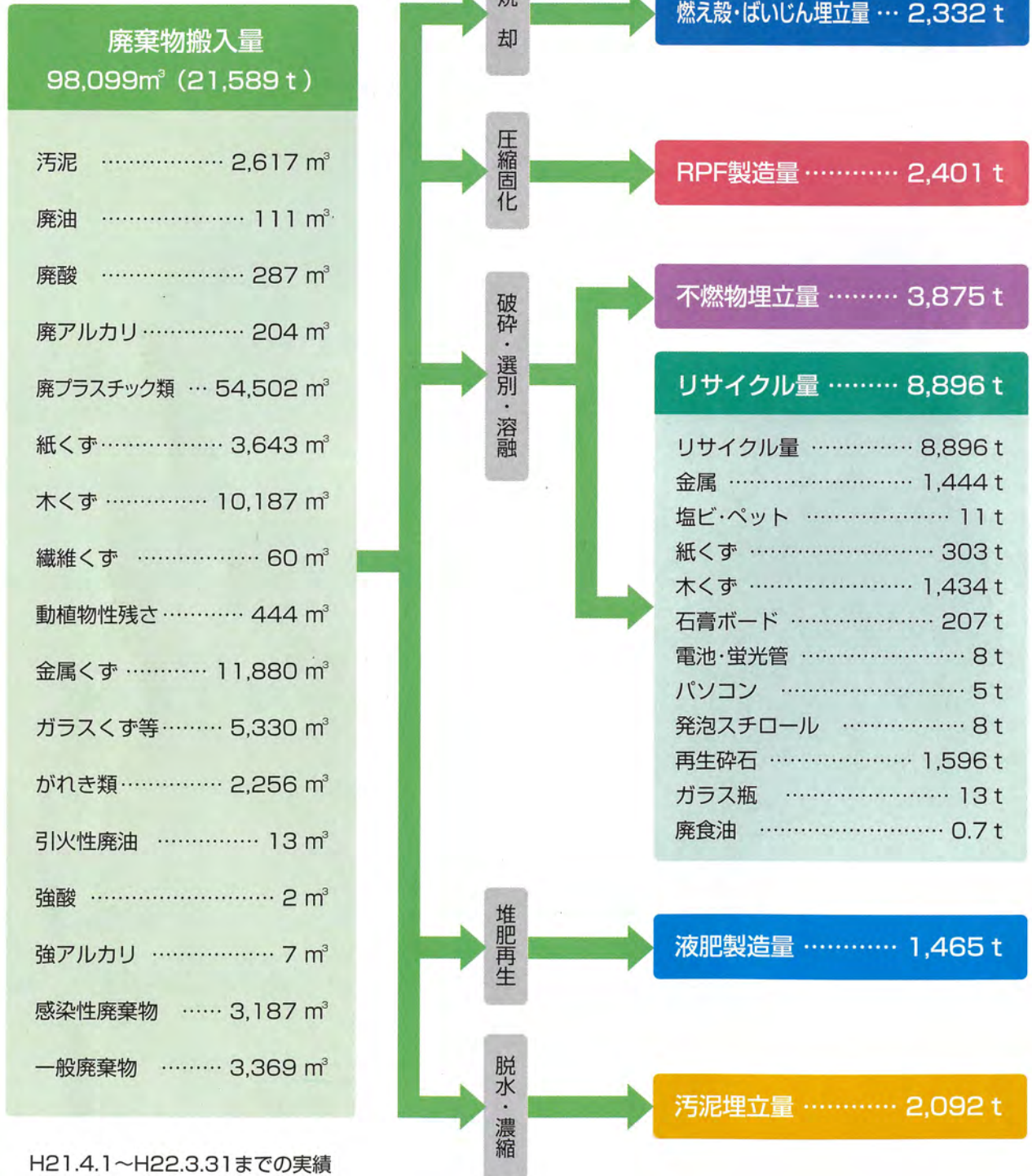
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H21.7.14		
カドミウム化合物	N.D.	0.1	mg/ℓ
シアン化合物	N.D.	1	mg/ℓ
有機燐化合物	N.D.	1	mg/ℓ
鉛及びその化合物	N.D.	0.1	mg/ℓ
六価クロム化合物	N.D.	0.5	mg/ℓ
砒素及びその化合物	N.D.	0.1	mg/ℓ
水銀及びその化合物	N.D.	0.005	mg/ℓ
アルキル水銀化合物	N.D.	検出されないこと	mg/ℓ
P C B	N.D.	0.03	mg/ℓ
トリクロロエチレン	N.D.	0.3	mg/ℓ
テトラクロロエチレン	N.D.	0.1	mg/ℓ
ジクロロメタン	N.D.	0.2	mg/ℓ
四塩化炭素	N.D.	0.02	mg/ℓ
1, 2-ジクロロエタン	N.D.	0.04	mg/ℓ
1, 1-ジクロロエチレン	N.D.	0.2	mg/ℓ
シス-1, 2-ジクロロエチレン	N.D.	0.4	mg/ℓ
1, 1, 1-トリクロロエタン	N.D.	3	mg/ℓ
1, 1, 2-トリクロロエタン	N.D.	0.06	mg/ℓ
1, 3-ジクロロプロペン	N.D.	0.02	mg/ℓ
チウラム	N.D.	0.06	mg/ℓ
シマジン	N.D.	0.03	mg/ℓ
チオベンカルブ	N.D.	0.2	mg/ℓ
ベンゼン	N.D.	0.1	mg/ℓ
セレン及びその化合物	N.D.	0.1	mg/ℓ
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素含有量	0.47	100	mg/ℓ
ふっ素及びその化合物	0.05	8	mg/ℓ
ほう素化合物	N.D.	15	mg/ℓ





## 廃棄物量

環境とのかかわり



H21.4.1～H22.3.31までの実績





## ISO14001への取り組み

### 【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心して快適な環境を提供する。

### 【環境方針】

- ① 環境目的・目標を明確にし、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な環境管理活動を行います。
- ② 地球環境保全のため、廃棄物の適正な収集・運搬・処理を行うとともに新技術・新設備を導入し、省資源、省エネルギー、廃棄物の再資源化及び減容化に努めます。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防に努め、かつ、環境保全の継続的改善に努めます。
- ④ 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全に対する意識の向上を図ります。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は要求があれば、一般にも開示します。

平成17年11月1日

代表取締役社長 尾崎 俊也

## 環境目標と結果

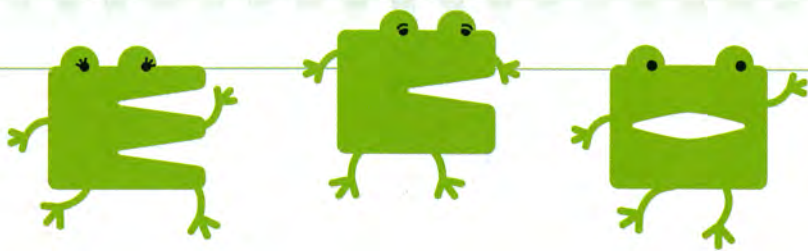
目的	平成19年度		平成20年度	
	目標	結果	目標	結果
A重油使用量削減	目標	A重油使用量/稼働時間=27%/h以下	目標	A重油使用量/稼働時間=51%/h以下
	結果	32.4 (%/h) △	結果	48.827 (%/h) ◎
リサイクル率向上	目標	リサイクル率50% (汚泥を除く)	目標	リサイクル率55% (汚泥を除く)
	結果	55.5% ◎	結果	58.6% ◎
収集運搬車両燃費向上	目標	燃費4.8 km/ℓ	目標	なし
	結果	4.72 km/ℓ △	結果	なし
紙文書のペーパーレス化	目標	10文書	目標	10文書
	結果	10文書 ○	結果	12文書 ◎
環境教育	目標	16回/年	目標	16回/年
	結果	27回/年 ◎	結果	27回/年 ◎

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率は100% ◎：達成率が100%を超えたもの

## 外部審査結果

実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント
H18年3月	定期・移行審査	なし	なし	5件	なし
H19年3月	更新審査	なし	なし	8件	1件
H20年1月	定期審査	なし	なし	5件	1件
H21年2月	定期審査	なし	なし	8件	3件
H22年1月	更新審査	なし	なし	3件	なし





## 環境セミナーの主催

廃棄物処理法は年々改正されており、排出事業者責任が厳しく問われるようになるにも関わらず、廃棄物の不法投棄や不適正処理は後を絶ちません。そのような背景を踏まえ、今一度排出事業者の皆様へ、廃棄物を処理する上で必要な知識、手続きについて知っていただく機会として、セミナーを開催しました。また、このセミナーにおいては、第2部として世界規模で問題となっている地球温暖化対策についても取り上げ、幅広く環境に関する勉強会の場として、たくさんの方にご参加いただきました。

第1部では、島根県環境生活部廃棄物対策課廃棄物ご担当の方を、第2部では地球温暖化対策に関して造詣の深いカーボンフリーコンサルティング株式会社様を講師にお招きしました。本セミナーは、財団法人しまね自然と環境財団より「平成21年度ふれあい環境助成金事業」に認定されました。また、セミナー開催に当たって発生した二酸化炭素排出量は、植林事業によってカーボンオフセットを行い、参加者にオフセット代金の一部を募金させていただきました。

**産廃管理や温暖化対策**  
業者から環境保全策学ぶ  
廃棄物処理と地球温暖化対策  
産廃処理と地球温暖化対策  
産廃処理と地球温暖化対策  
産廃処理と地球温暖化対策



環境温暖化対策などについて講演する中西武志社長

中西武志社長が、環境や、事業で排出したCO2を植林で相殺する炭素オフセットプログラムなど、各業界で取り組まれている環境対策を紹介した。  
セミナーは松江市内の廃棄物処理業者が、しまね自然と環境財団の「ふれあい環境助成金」を受付けて開いた。



## 緑化

当社では、平成12年頃から事務所や工場内に花のプランターを置いたり植樹を行い、華やかな場所づくりに取り組んできました。花と緑がある光景を来社されるお客様や社員に和んでいただけるよう、日々水遣り当番や花係りによる管理を行っています。この取組について、過去「島根県花と緑のまちづくり賞」に応募し、奨励賞と優秀賞を受賞しました。今年は松江市が主催する第2回緑と花のまちづくりコンクールに応募したところ、「奨励賞」をいただくことが出来ました。



環境とのかかわり



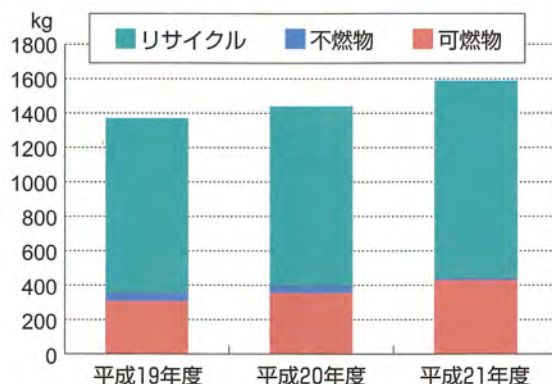


## 事務所ゴミの分別とリサイクルの推進

当社の事務所や現場休憩室から出る一般廃棄物についても、分別を徹底し、リサイクルを行っています。分別方法は、

- ①古紙 ②新聞・雑誌 ③機密書類 ④ダンボール
- ⑤RPF用プラスチック類 ⑥RPF用紙・木くず
- ⑦生ごみ ⑧ガラス瓶 ⑨空缶 ⑩可燃物 ⑪不燃物

と非常に多いですが、その成果はリサイクル率70%以上をキープしています。今年からは空瓶のリサイクルもスタートし、更なるリサイクル率の向上を目指します。



## エコプロダクツ展2009に出展

12月10日(木)~12日(土)に東京ビッグサイトで国内最大級の環境展示会、エコプロダクツ展2009が開催されました。経済産業省が主催する「カーボンフットプリント」のブースに、PCRの認定を受けた「有機質の液体肥料」を展示させていただきました。当日は、ブースにてPCR認定までの取組みや苦労話などをプレゼンテーションさせていただきました。カーボンフットプリントは、まだまだ一般への普及度が低いようです。こういった展示会を通じ、

事業者側がさまざまな商品にカーボンフットプリントマーク付与するようになれば、広まっていくのではないかと思います。当社も、山陰地区から、カーボンフットプリント事業の広報活動を行っています。



## しまね地球温暖化防止活動大賞 優秀賞受賞

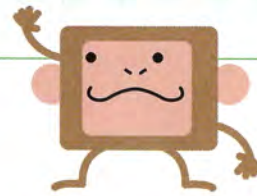
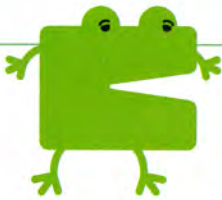
しまね地球温暖化防止活動大賞とは、島根の豊かな環境を守り育むと共に、脱温暖化社会の実現を目指すことを目的に一昨年度創設された表彰制度です。当社では、「しまねストップ温暖化宣言」を行い、様々は活動によってCO<sub>2</sub>削減を目指しています。その中でも、最も削減効果が大きい食品残さのリサイクルについて、このたびしまね地球温暖化防止活動大賞に応募したところ、事業者部門の優秀賞をいただくことが出来ました！

12月12日(土)にくにびきメッセで表彰式が行わ

れ、表彰状をいただきました。この食品残さのリサイクルを行うことが出来るのも、リサイクルにご協力いただいている事業所の皆様、行政の方々、そして地域の皆様のおかげです。今後もますますリサイクルを推進してCO<sub>2</sub>削減に貢献したいと思います。







## ❑ チャレンジ25キャンペーンに参加

2009年9月、当時の鳩山内閣総理大臣が、2020年までに温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減することを表明されました。これをうけ、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から「チャレンジ25キャンペーン」に生まれ変わりました。当社もチーム・マイナス6%に所属し、地球温暖化防止活動を行ってききましたが、このたびチャレンジ25のチャレンジャー登録を行い、「チャレンジ25宣言」を行いました。

また、個人のチャレンジャーを応援する企業とし

ても登録し、『当社が出展するイベント・展示会にて「チャレンジ25宣言書」を提示いただいたお客様に、アースサポートオリジナルエコバッグ又は生ごみをリサイクルして作った液体肥料(500ml)をプレゼントいたします(2010年3月1日～2010年12月31日まで)』という特典により応援しています。

未来が変わる。  
日本が変える。



## ❑ カーボンオフセット

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を植林事業やCO<sub>2</sub>排出権の購入などで相殺(オフセット)することです。

当社では、平成20年5月からさまざまな活動から排出されるCO<sub>2</sub>を植林事業と排出権の購入によりオフセットしています。植林事業は、中国の内モンゴル自治区にアカマツを植え、「アースの森」と名付けています。アカマツが成長すると、CO<sub>2</sub>を吸収するだけでなく、黄砂を防ぐ役割も果たしてくれます。オフセットした実績はコチラです。

昨年、廃棄物収集運搬車両に使用する軽油及び封筒や環境報告書などの製造に伴って発生した二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量をカーボンオフセットし、今年は、廃棄物収集運搬車両、営業車、工場の電気や重油などに関するCO<sub>2</sub>排出量の25%をオフセットすることにいたしました。オフセットは、植林事業とニュージーランドの排出権(AAU)を利用しました。鳩山政権が打ち出した温室効果ガス25%削減計画にあわせ、25%削減しましたが、そのほかパンフレット類や封筒類は常時オフセットしています。

年月	削減品目	計算削減CO <sub>2</sub>
H20. 5	環境報告書2008	1.70トン
H20.11	manifesto用封筒	0.10トン
H20.11	封筒	0.03トン
H20.11	封筒	0.10トン
H20.11	封筒	0.10トン
H20.11	事業概要パンフレット	0.22トン
H20.11	小冊子「お客様の声」	0.19トン
H20.11	廃棄物収集車両の軽油分排出量	186.00トン
H21. 1	採用活動パンフレット	0.04トン
H21. 6	環境セミナー	5.20トン
H21. 9	封筒	0.33トン
H21. 9	封筒	1.99トン
H21. 9	環境報告書2009	0.45トン
H21. 9	採用活動パンフレット	0.04トン
H21.11	会社全体排出量25%オフセット	302.25トン
H22. 1	manifesto用封筒	0.13トン
H22. 2	封筒	0.10トン
	オフセット量	498.98トン





# 地域とのかかわり

アースサポート株式会社は、地域活動への参加、徹底した情報公開及び更なるリサイクルの推進により、地域に必要とされる会社づくりを目指しています。

## 地元小学校における環境教育

- 5月 7日 竹矢小学校
- 5月11日 揖屋小学校
- 5月14日 雑賀小学校
- 6月 2日 出雲郷小学校

「ゴミのゆくえとパッカー車のしくみ」というテーマで、上記4校にて環境教育を行いました。分別方法について、クイズを出したり、実際に使用しているゴミ袋とゴミのサンプルを使用しながら説明を行うと、「おうちで分けて出しているよ」「お母さんが〇〇で出すって言った」と子供たちの反応が良く、分別について正しく理解してくれている子どもが多かったように思います。

また、実際にパッカー車を学校に持って行き、ごみの投入体験や緊急停止ボタンの実演などを行うと、子どもたちは目を輝かせて運転席に座ったりしていました。先生からも「前に立って説明のみをして頂くのも有り難いですが、車を実際に動かしてもらったり触りながら説明して頂くと子どもたちも記憶にずっと残ります。各部分の説明を聞く際に、ずっと溶け込んでみなさんの説明を聞いていました。今日は子どもたちに良い経験をさせてもらいありがとうございました。」と有り難いお言葉を頂きました。



■竹矢小学校にて

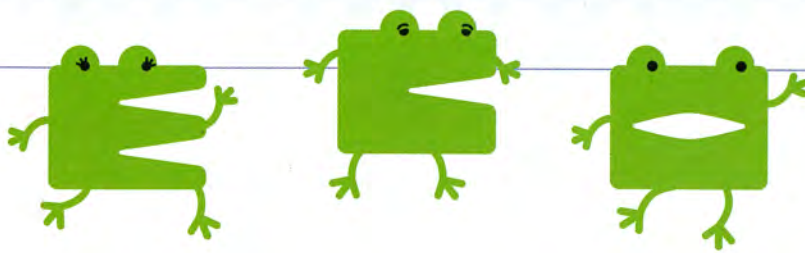


■揖屋小学校にて



■雑賀小学校にて





## ボーイスカウトの子供たちと環境教育

ボーイスカウトの子供9名と大人3名の合計12名の方が工場見学に来社されました。会議室でスライドの説明を行い、工場内とごみ収集車パッカー車を見学しました。

スライド説明の際はみんな熱心に話を聞き、こちらからの「〇〇〇って知ってますか?」「〇〇〇はどうなると思いますか?」などの質問にも元気に答えてくれました。場内の見学の際はトラックス

ケールにみんなで乗ってみたり、重機や場内に入ってくる収集車輛を熱心に見たり、こちらの説明にもとても興味を持って聞いてくれました。一番興味を示したのはパッカー車の見学で、運転席をのぞいたり、緊急停止スイッチを実際に動かしました。



## 県民ミュージカル 愛と地球と競売人と環境教育

ミュージカル「あいと地球と競売人」(きょうばい)は、地球環境保護を訴えるマンガ「地球の秘密」を描いた直後、急病で亡くなった島根県斐川町の小学6年生、坪田愛華さんの遺志をモチーフに、1994年から上演が続けられている県民手づくりミュージカルです。毎年参加する子供たちが応募され

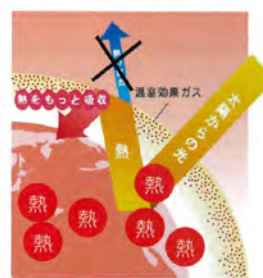


ます。今年の出演する子供たちに環境教育を行い、出演に当たって環境への意識を高めていた

だきました。公演当日は会場にブースを出し、来場者にも展示品や説明を行いました。

### 地球温暖化

★地球温暖化とは・・・  
温室効果ガス(二酸化炭素、メタンなど)が地球を囲って、地球上の熱を宇宙に放出するのを妨げてしまいます。熱は地球の中でどんどん貯まり、温暖化が進みます。



北極や南極の氷が溶けて海面が上昇し、標高が低い土地が海に沈んでしまいます。などなど

世界規模で温室効果ガスで減らそう！  
日本は、2012年には1990年に排出した量から6%減らすようにする。  
(京都議定書で公表)

チームマイナス6%

## 廃食油リサイクル

平成14年より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を回収し、軽油相当燃料のバイオディーゼル燃料にリサイクルを行っています。現在までに1,776リットルをリサイクルし、当社の工場内の重機や場内車の燃料として利用しています。

**竹葉地区 廃食油リサイクル 事業経過報告書**

事業の目的は、地域の環境美化と資源の有効活用です。回収された廃食油は、バイオディーゼル燃料として再利用されています。回収量は年々増加しており、2010年には1,776リットルを回収しました。

**リサイクル量**

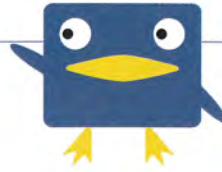
年度	回収量(リットル)
2005	100
2006	150
2007	200
2008	300
2009	400
2010	500
2011	600
2012	700
2013	800
2014	900
2015	1,000
2016	1,100
2017	1,200
2018	1,300
2019	1,400
2020	1,500
2021	1,600
2022	1,700
2023	1,776

**廃食油リサイクルについて**

日本全国の廃食油で出来るBDFの量は?

年度	回収量(リットル)
2005	100
2006	150
2007	200
2008	300
2009	400
2010	500
2011	600
2012	700
2013	800
2014	900
2015	1,000
2016	1,100
2017	1,200
2018	1,300
2019	1,400
2020	1,500
2021	1,600
2022	1,700
2023	1,776





## 竹矢小学校へ『みどりの図書』寄贈

平成16年に地元の竹矢小学校へ環境に関する図書を寄贈以降、毎年寄贈をしています。これらの本は、「みどりの図書」と名付け、図書室にはたくさん「みどりの図書」が並べられています。今年で6年目を迎え、校長先生から「いつもいつもありがとうございます。アースサポートさんのおかげで図書室に環境に関する本がたくさん増えて喜んでいきます」とおことばをいただきました。(H22年3月11日寄贈)



### 本年度寄贈させていただいた図書

- におい山脈
- ちきゅうのためにできること
- あなたが世界をかえる日  
12才の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ
- 地球のこどもたちへ
- 海の宝もの
- おいたてられた2匹のカエル
- もったいないからはじめよう 全6巻
- 環境ことば辞典 全4巻
- 地球の未来とゴミ学習 全3巻
- ゴミを調べる 全3巻
- 川の総合学習 全3巻
- 資源の本 全5巻
- ジュニア環境調査隊 全4巻
- アニマルアイズ 全5巻
- エアコップ大作戦1学校編
- 身近な自然でふるさと学習4川  
-いのちをはぐくむ流れ-

## 地域美化活動

平成12年からスタートした地域の清掃活動は、現在でも月2回行っています。始業前の30分、事務所の職員15名程度で会社周辺のゴミ拾いを行っています。特に中海に隣接した道路や草むらの中には、



弁当がらやタバコの吸殻がたくさんあります。

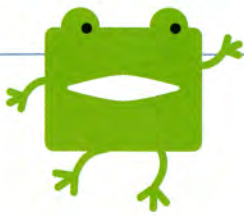
4月22日は「アースデイ」とされており、この日にあわせ、通常より参加人

数を増やすよう呼びかけを行いました。ごみ袋にもアースデイの紙を張り、道路を走る通勤車からも活動の様子が分かるようにし、参加者以外の方にも環境意識を高めてもらえることを期待しています。



■ アースデイ用ゴミ袋





## 各種イベントへの参加

### おかげ天神市

日時：平成21年8月25日（火）

場所：天神町商店街

ミニトマトの試食を用意したところ「このトマトすごく甘いね」ととても好評でした。オクラも「長いオクラや鮮やかな緑のオクラですごいね」と好評で32個全てを完売しました。

液肥を見て「良い取り込みをしているね」と声を掛けてくださるお客様や生ゴミリサイクルに興味を示して下さる方も多かったです。

### 環境フェスティバル

日時：平成21年11月1日（日）

場所：くにびきメッセ

展示品：リサイクル製品、液体肥料、アースファームの野菜

環境フェスティバルは、市民が環境を見つめ直す機会を提供することを目的に、松江市が中心となって毎年行われています。当社は参加今年で4回目の参加となりました。液体肥料をについて「生ごみをリサイクルしてつくっています」と説明すると、「とてもいいことをしているね」と言って下さる方が多数いらっしゃいました。

## 第17回地元自治会様見学会

環境に関する協定を締結させていただいている地元自治会8団体様との連絡協議会を11月27日（日）に行いました。この度は新しく就任された自治会長様・代表者様が8団体すべてご参加され、当社の取組みを説明させていただきました。立会人として毎回松江保健所様にもご参加いただいております。説明資料は、後日自治会の各戸様に配布させていただきます。環境や地域への取り組みについて知っていただく機会となっています。



## アースサポートオリジナルエコバッグの製作

スーパー等で配布される買い物袋について、値引きや有料化やすることで廃棄される買い物袋の削減に取り組む自治体が増えてきました。山陰地区でも、平成22年4月1日から松江市で一部のスーパー等が有料にする動きが出来てきました。持参する買い物袋は「エコバッグ」とよばれ、様々な大きさや種類、素材のもの販売や無料配布されています。当社でもオリジナ

ルエコバッグを製作し、環境関連の展示会での配布やアンケート御礼の品としてお渡ししています。





# 社会とのかかわり

アースサポート株式会社は、  
廃棄物処理という公共性の高い事業を担う一員として  
環境への配慮、雇用の確保、適切な情報開示などを  
果たすべきだと考えております。

## 不法投棄パトロール



毎年島根県や社団法人島根県産業廃棄物協会が中心となって、不法投棄撲滅を目指し、不法投棄パトロールを行っています。これは、不法投棄のポイントを回り、不法投棄の現状、今後の課題について話し合いを行い、最終的には撤去作業も行うという活動です。不法投棄は個人で行った場合、5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金（未遂の場合も含む）、法人で行った場合は、1億円以下の罰金（未遂の場

合も含む）が課せられる非常に罰則の厳しい犯罪です。廃棄物の不法投棄は環境に非常に大きな影響を与えますが、いまだに後を絶ちません。不法投棄を根絶するためにも、適正処理を推進し、お客様に安心してご依頼いただけるような会社作りを目指してまいります。



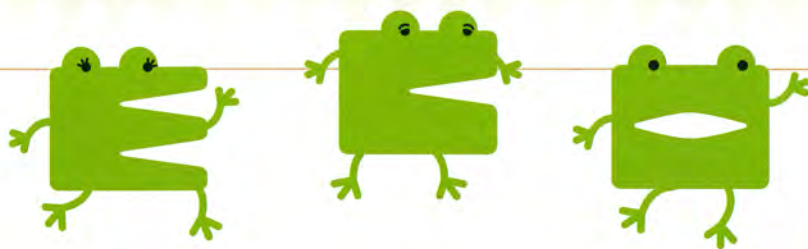
## 中小企業IT経営実践企業に認定

経済産業省では、優れたIT経営を実現し、かつ、他の中小企業がIT経営に取り組む際に参考となるような中小企業等を経済産業大臣等が表彰する「中小企業IT経営力大賞」を平成19年度に創設し、本年度第3回目として「中小企業IT経営力大賞2010」を公募しました。当社でも平成14年から会社全体の業務を統括管理する独自の基幹ソフトを製作し、平成17年までの3年間でより高度なシステムに仕上げ、現在使用しています。このシステム導入について応募したところ、残念ながら賞には選出されませんでした。IT経営の実践内容が企業内最適化を図っているなど、一定水準以上と認められる企業として「IT経営実践認定企業・組織」に認定されました。



IT経営実践認定企業





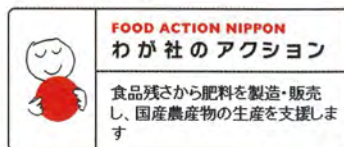
## FOOD ACTION NIPPON推進パートナーとしての取組み

日本の食糧自給率は、平成19年度は40%でしたが、平成20年度には41%に上がりました。しかし、主要先進国の中では最低水準に値します。FOOD ACTION NIPPON推進本部は、平成27年度には日本の食料自給率45%までアップさせることを目指し、国民運動の推進に取り組んでいます。日本の食料自給率の向上を通じて、日本の食の安全と豊かさを未来の子供たちへ引き継いでいくために、精力的に活動していくことをここに宣言いたします。

当社では、昨年「FOOD ACTION NIPPON推進

パートナー」に名乗りを上げました。食糧自給率の向上のために、アースファームと共同して食品リサイクルを推進することで、アースファームで栽培する国産農産物を増やし、地産地消によって安価で消費者に提供できるよう取り組んでいます。

アースサポート株式会社



## 工場見学の受入

当社への工場見学は、廃棄物の排出事業者だけでなく、一般市民の方や学生さんが来社されます。排出事業者責任として廃棄物処理状況を確認される企業の方も、自分たちが排出した廃棄物が目の前で処理される現状を見て、「大変勉強になった」と言われます。食品リサイクルプラントの竣工後は、一般団

体の見学が増え、メディアの取材依頼もありました。廃棄物の処理というのは、普段の生活では見る機会はありませんが、環境問題と密接なかかわりを持っています。わたしたちは、工場見学を通じて環境意識の向上を図っています。



## しまね安心生活サポートフェアに参加

「介護」や「健康」、「生きがい」を主なテーマに、総合福祉展「しまね安心生活サポートフェア」が平成22年3月21日、22日にくにびきメッセ（松江市学園）で開催されました。2日間で約1万5千人が来場され、にぎわいをみせました。当社では、食品残さからリサ

イクルして製造した液体肥料と農業不用品で栽培した野菜を販売しました。野菜は完売し、液体肥料にもみなさん関心を示されご購入いただきました。







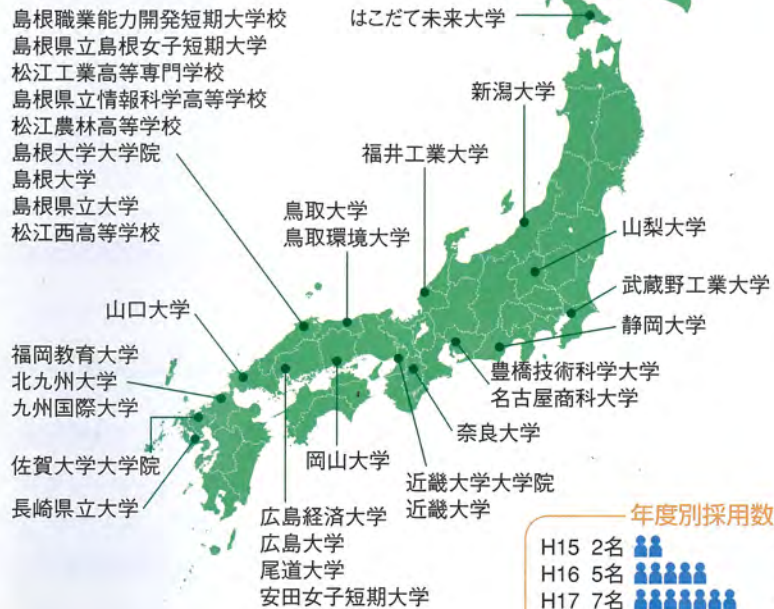
## 新卒採用 ～安定的な雇用機会の提供のために～

学生の内定率低下をはじめ、企業の雇用問題は大きな社会問題となっています。当社では、毎年定期的に新卒採用活動を行い、地域に貢献をしたいと考えている多くの学生が会社説明会に参加されます。また、障害者雇用も積極的に行い、できる限りの雇用の創出をしたいと考えています。



■会社説明会

### 新卒採用学生の出身大学マップ



## ハートフルベンダー募金

当社にはジュースの自動販売機が2つあり、そのうち1つは、「ハートフルベンダー」といい、1本ジュースを買くと、2円募金しています。また、一見すると普通の自動販売機ですが、硬貨の投入口の上に「10円」と「100円」の2種類の募金専用ボタンもあります。ジュースを買わなくても募金することができます。募金をすると「ありがとうございます！」と音声流れるなど細かい配慮もされています。集められた募金は、特定非営利活動法人ハートフル福祉募金が集計し、赤い羽根でおなじみの共同募金会を通じて、各種福祉、社



会事業団体に配分され、社会福祉や地域福祉などに活用されております。





# お客様とのかかわり

アースサポート株式会社では、  
自社以外を「すべてのお客様」ととらえ、  
「すべてはお客様に安心と感動を与える」という  
経営理念を掲げています。

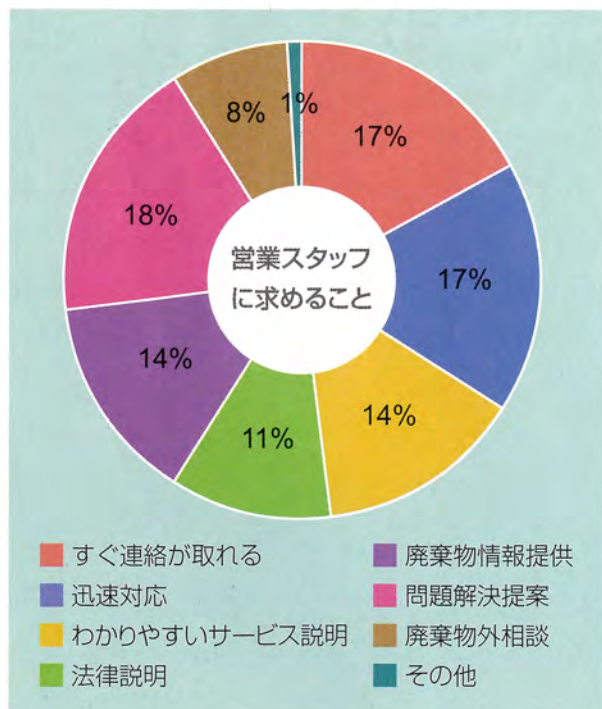
## コキャストPTの活動

『コキヤク（顧客）の要求から**スタート**しよう』と  
いうテーマから、顧客満足向上のための活動を行う  
プロジェクトチームがあります。今年度の活動は、

廃棄物セミナーの開催（PO）とお客様アンケート  
による顧客満足度調査を行いました。

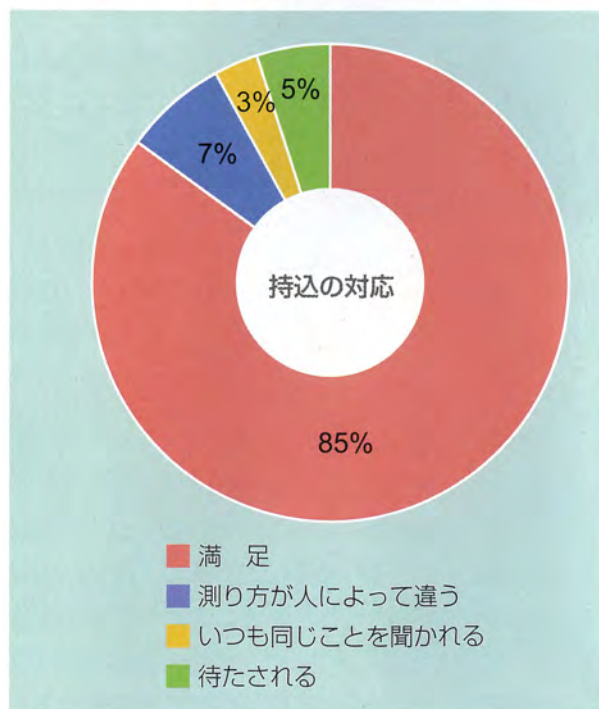
アンケート送付数：約 1600 枚、返信率：29%

「営業スタッフに求めることは何ですか？」という  
質問に対し、次のような結果でした。



最も重要視されるのは『対応のスピード』である  
ことが分かり、当社では1人の営業スタッフと営業  
事務スタッフをペアにし、外回りで営業スタッフが  
不在の場合でも営業事務スタッフが対応できるよ  
うな組織体制に変更いたしました。

また、廃棄物をお持込されるお客様に対して、対  
応について質問をしました。



ほとんどのお客様にご満足いただいているよう  
ですが、人によって測り方が異なるというご指摘に対し、  
対応者の測り方テストやマニュアルづくりなど教育  
を行いました。





## 挨拶研修



日々お客様先に訪問し、作業させていただき収集オペレーターは、まさに当社の“看板”だと言えます。お客様に気持ちよい対応をさせていただくためには、日々の訓練が重要だと考えています。当社では、毎朝の朝礼で発声練

習を行う他、年に1回程度、外部講師を招いて挨拶研修を行います。研修では、基本動作を再確認したり、「基本動作をきちんとこなすために何を行うべきか」というテーマで計画表を作成したりします。



## 社員研修

廃棄物の処理を行うためには、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づくことが必須であり、複雑



■ロールプレイング風景

な法律を理解する必要があります。当社では、新入社員の時はもちろん、その後も定期的に各部署ごとによ



■収集オペレーター法律勉強会

る法律勉強会を行っています。特に営業部、収集オペレーターを中心に、廃棄物の種類の判断方法や当社の許可内容など、テストを実施して本人の理解力を高めるようにしています。

## ウェルカムボードの設置

当社に工場見学に来られる方やお客様には、ウェルカムボードに来社される方のお名前を表示しています。本社玄関と工場内2箇所にこのボードを設置しています。ボードを見たお客様は、笑顔になって喜ばれます。当社にとっては、来社される「すべての方」がお客様です。お越しいただいたという感謝の気持ちをこのウェルカムボードに込めて、お客様が温かい気持ちになっていただけるような対応を心がけています。





# 社員とのつながり

アースサポート株式会社では、社員は「人財」と呼び、「社員が生きがいを感じ、会社に行くのがワクワクするような会社作り」を社是の一つとしています。

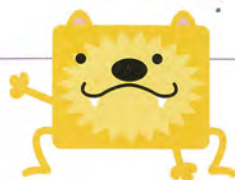
## 社員が夢を持てる会社づくりPTの活動

### 収穫祭

当社が取り組んでいる食品リサイクル事業を展開し、社員のご家族をお招きしてアースファームの収穫体験を行う「収穫祭」を行っております。平成18年以来、第2回目となる今回は、社員ご家族だけでなく食品関連事業者や社員家族のお連れの方もご招待したのですが、残念ながら社員ご家族の方のみの収穫祭となりました。本収穫祭は、島根県の「おいしい、たのしい、ためになる食育推進助成事業」に採択されており、参加者の方々には食品リサイクルの仕組みをご説明し、子供たちに環境や食への関心を高めてもらえたら、と考えました。当日は非常に冷え込みましたが、みなさん楽しく収穫をされました。最後にアースファームで栽培した野菜と契約農家さんで栽培したお米で身体にやさしいカレーライス食事をを行い、和気あいあいとした雰囲気で開催の幕を閉じました。







## ファミリーデー

家族見学会とは、社員のご家族をお招きし、ご家族からお預かりしている大切な社員が、普段どのように働いているかを知っていただき、ご家族の方々に安心していただきたいという思いのもと、毎年行



っているものです。今年も7月5日に実施し、これまでで最も多い66名にご参加いただきました。今後も継続していくことで、社員が働きやすい会社作りを行っていききたいと思います。

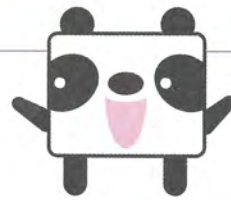
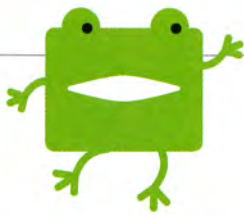
## 事業報告会

事業報告会は、年2回全社員が一堂に会し、当社の現状や今後の方向性について共通の認識を持つための会議です。

12月の報告会では、「この1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取組み」として年間MVP賞を事前に社員へ公募しており、その結果発表が行われます。今回は、お客様へのリサイクルの提案と自社のコスト削減につながる取組みを行った「事業系不燃物の産廃化」チームがMVP賞となりました。そのほかプロジェクトチームの表彰や各部署から投票によって選出されたメンバーの表彰も行われました。







## レクリエーション



各部署は日々の活動は違えど、一つの同じ方向性に向かっています。毎日顔を合わせる社員もいれば、数ヶ月に1回も会うことが無い社員もいます。社員

が夢を持てる会社づくりPTでは、社員同士の絆を深める活動として、様々なレクリエーションを計画しています。代表的なものが社員旅行です。5回目となる本年は、京都へ行きました。今まで一番参加人数も多く、天候に恵まれたこともあり、非常に良い思い出となりました。そのほか、夏にはレガッタ大会に参加しています。



## 表彰制度

当社には様々な表彰制度があります。

社長賞・優秀賞・努力賞	優れた功績を収めた社員への報奨
お褒めの言葉表彰	お客様よりお褒めいただいた社員への報奨
コストダイエット報奨	コスト削減を提案した社員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉でA重油の使用を最小限に運転をした職員への報奨
安全運転ランキング賞	塵芥車、コンテナ車、アルミバン車の3車種別にデジタコにより安全運転ランキングが1位だった社員への報奨
名称募集	新規商品・サービスの名称を公募し、採用された社員への報奨
年間MVP・アースサポーター賞 グッジョブ賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取組みを行った職員又はチームへの報奨
部門賞	1年間、各部署ごとで投票により選出された功労者に送られる報奨

3ヶ月に1回表彰されるA重油ランキング賞と安全運転ランキング賞は、社員同士が競い合うことでお互い良い刺激になったり、コミュニケーションツールになっており、社員の日々の努力がコスト削減につながっています。





# 労働安全衛生への取り組み

アースサポート株式会社は、「人」も環境の一つととらえ、人をとりまく環境についても十分考慮し、取り組むべきだと考えています。



## インフルエンザ対策

4月頃世界規模で発生した新型インフルエンザが拡大する可能性を考慮し、当社では、4月下旬にインフルエンザ対策委員会を設置し、組織図や各部署における対策、山陰地区でパンデミックになった場合の対応などを事前にマニュアル化し、マスクや消毒などのグッズも準備を行いました。また、全社員へ感染予防や感染時の対策について研修会を行いました。



インフルエンザ対策の中で、廃棄物処理業務は、電気・水道等と同等に重要なライフラインとなってい

### 廃棄物処理業務はライフライン

- 新型インフルエンザ対策の中で、廃棄物処理業務は電気、水道等と同等に重要なライフラインとして、公的に重要な責任を持った業務として位置づけられており業務の継続が求められます。
- その為、当社は、社内での感染を防止しつつ、公的責任を全うしなければならぬという「社会的に重要な業務」を担っています。そのことを各自、しっかりと認識し、業務を遂行できるようにご協力いただきますようお願いいたします。
- まずは、自ら（ご家族を含む）の健康を第一に考え、感染予防対策を各ご家庭でも、しっかりと徹底して下さい
- 各対策については、今後の状況、各行政機関の指示により、変更する場合があります。変更時には迅速に該当部署に指示をします。

以上

ます。業務を継続するために行政と連携をとり、最善の対応ができるよう、常に準備をしています。

## 災害訓練

ISO14001の規定に基づき、毎年災害を想定した訓練を実施しておりますが、今年は外部の講師を招いて、消火器・消火栓の使用方法、火災報知機の

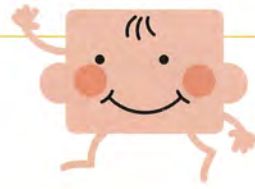
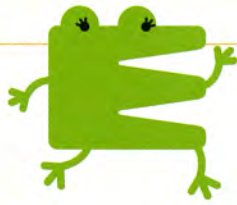


種類、発報した際の発生場所確認方法、消火後の火災報知機、消火栓の復旧方法など幅広い訓練を実施しました。特に冬季は



乾燥しやすく火事も起こりやすい時期のため、火災事件の話をよく耳にします。社員1人1人の火災対策意識や早期発見などが予防の重要になってきますので、こういった社員教育は大変重要だと考えています。



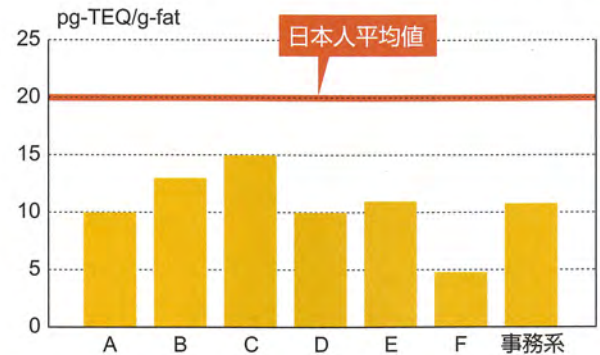


## 血中ダイオキシン類濃度測定

廃棄物焼却炉とダイオキシン類は密接な関係があると一般的に言われています。当社で焼却炉に従事する社員には、タイベックとよばれる専用の作業服やエアフィルター、エアシャワーなどを完備しています。また、定期的に焼却炉に従事する社員の血中ダイオキシン類濃度を検査しています。

「日本人におけるダイオキシン類の蓄積量について（環境省 2008 年発行）」によれば、日本人の平均的な血中ダイオキシン類濃度は 20pg-TEQ/g-fat と記されています。この数値と当社の事務系職員の数

値と比較しても、全く問題のない値となっています。

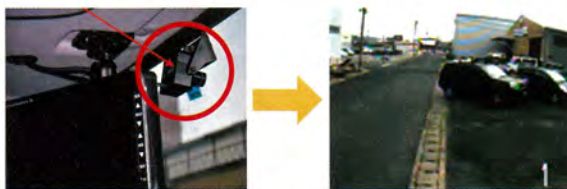


## ドライブレコーダーの導入

ドライブレコーダーは、廃棄物の収集運搬車両に小型カメラを取り付け、その映像を記録する装置です。収集車両 1 台につき、正面、運転席室内、運転席右側面、後ろ側の 4 箇所にカメラを設置します。録画した映像は、音声も入った状態のものをパソコンで見ることが出来ます。このドライブレコーダーをつ

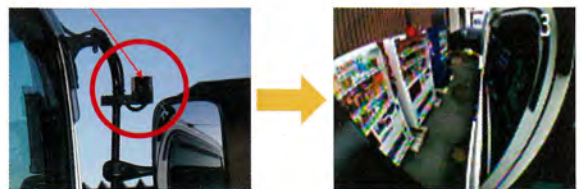
けることで、さまざまな管理を行うことが出来る一方、事故時の確認やヒヤリハット事例として確認が可能となり、災害や事故の発生を未然に防止する活動にもつなげることが出来ます。当社では、パッカー車全台に設置しています。

### 前方カメラ



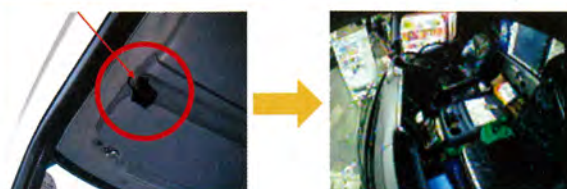
運転席から見えている光景と同じものが映ります。

### 運転席側方カメラ



運転席の右側後方が映ります。

### 室内カメラ



運転席の様子が映ります。

### 後方カメラ



車両後部が映り、作業している状況が見えます。



# アースファームだより

この章では、当社関連会社である  
農業生産法人アースファーム事業に関する  
活動をご紹介します。

## 農地拡大

平成21年11月、アースファームの農地を  
1.5haから2.4haへ拡張しました。食品リサイ  
クル事業の拡大に伴い、農地も拡大し、より多  
くの農産物を生産し、全国へお届けできるよ  
うにしたいと考えています。



## ホームページの開設

アースファームのHPを開設いたしました。野  
菜の生育状況や収穫・販売情報を公開し、地元  
だけでなく広くアースファームの取組みを知っ  
ていただきたいと思います。



## エコファーマーに認定

堆肥などで自然にやさしい土づくりを行った水田  
や畑で、化学肥料や化学農薬の使用量を島根県にお  
ける標準的な使用量の7割以下に抑えて農産物を栽  
培する農業者で、そのうち、持続農業法に基づいて  
都道府県知事の認定を受けた者を「エコファーマー」  
として認定する制度があります。アースファームは、  
平成21年5月、エコファーマーとして認定を受け

ました。このうち、下記の3つを満たした農産物は、  
「島根県エコロジー農産物」として販売することが出  
来ます。

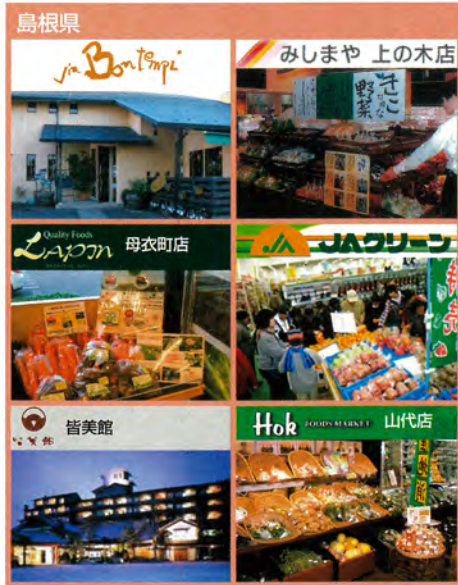
松江市内スーパーの  
地産地消コーナーにて、  
アースファームの農産  
物を販売しております。



- ① エコファーマーが生産したもの
- ② たい肥などで自然にやさしい土づくりを行った水田や畑で生産したもの
- ③ 化学肥料と農薬の使用量は島根県における標準的な使用量の半分以下で生産したもの



販売実績



アースファームの野菜



オクラ



カボチャ



コメ



ミニトマト



サトイモ



ブルーベリー



タマネギ



ジャガイモ



トマト



ニンニク



赤タマネギ



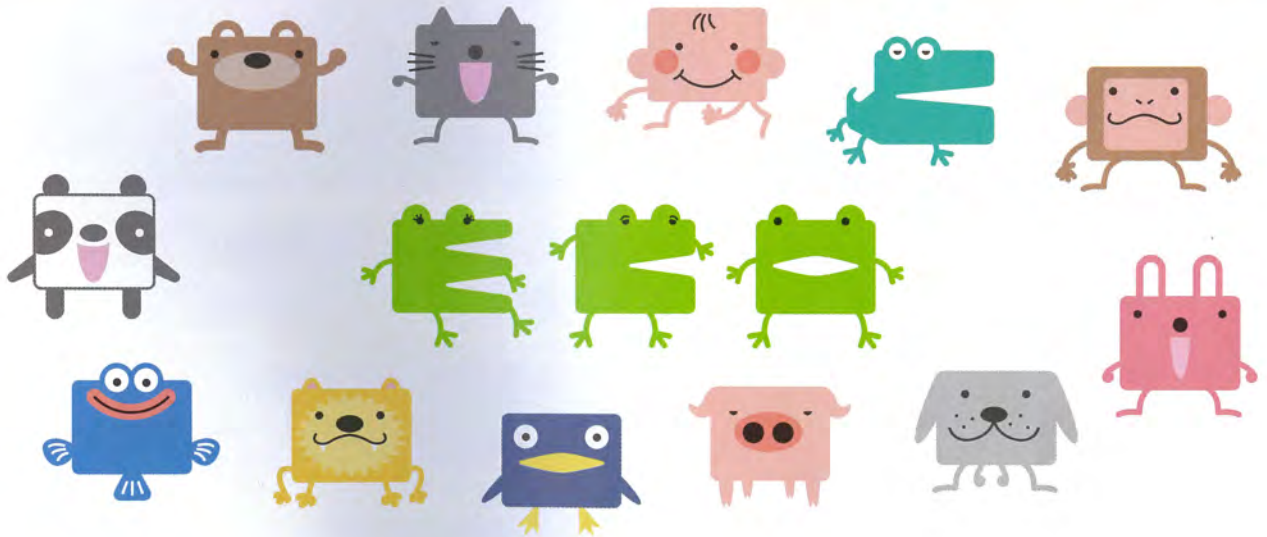
# 「アースサポート株式会社 環境報告書2010」 をお読みいただきありがとうございました。

この環境報告書は、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様に関わりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきの回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。



アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、(有)アースファームの農場で収穫した「季節のお野菜」をプレゼントいたします。



料金受取人払郵便

松江支店 承認

283

差出有効期間  
平成23年6月  
30日まで

切手を貼らずに投函ください。



郵便はがき

6 9 0 - 8 7 9 0

アースサポート株式会社 行

島根県松江市八幡町八二番地

646



**Q1** アースサポート株式会社 環境報告書2010をご覧になって  
どのように感じられましたか？

①当社の環境・社会活動自体について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ぶつう  
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ぶつう  
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ぶつう  
4. ややもの足りない 5. もの足りない

**Q2** 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. 組織体制 2. アースサポートのあゆみ 3. トップメッセージ 4. ハイライト  
5. 環境とのかかわり 6. 地域とのかかわり 7. 社会とのかかわり 8. お客様とのかかわり  
9. 社員とのつながり 10. 労働安全衛生への取り組み 11. アースファームだより

**Q3** 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族  
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

**Q4** 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. アースサポートNEWS  
4. メールマガジン 5. 当社従業員より 6. その他（ ）

**Q5** 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

**Q6** 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

環境報告書2010 アンケート

Q1 ①  ②  ③

Q2 \_\_\_\_\_

Q3

Q4

Q5 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Q6 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

◀ 切り取って郵送いただくか、  
このままFAXしてください。  
※記入していただいた個人情報は、  
本アンケート以外の目的で  
使用いたしません。

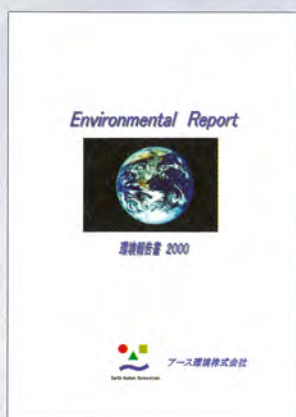


# 編集後記

本環境報告書は、対象期間を平成21年4月1日から平成22年3月31日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。環境に対する取り組みだけでなく、さまざまな取り組みを含めたCSR報告書に近い形になっております。環境省が発表している環境報告書ガイドラインに添ったものにはなってはおりませんが、地域の皆様をはじめ、学生や一般の方にも読みやすいよう、写真を多く使用し、文章も出来るだけ分かりやすいよう製作しております。そのため、多々不備がございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良い環境報告書づくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・制作 総務企画部経営企画係

## 過去の環境報告書



2000年



2001年



2002年



2003年 夏



2003年



2006年



2007年



2008年



2009年





Earth Support Corporation.

## アースサポート株式会社

〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2

TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892

E-mail: earth@earth-support.jp

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001  
JQA-EM1465  
本社  
廃棄物・リサイクル



この環境報告書の製造に伴って排出されるCO<sub>2</sub>は、  
植林事業によってオフセットされています。